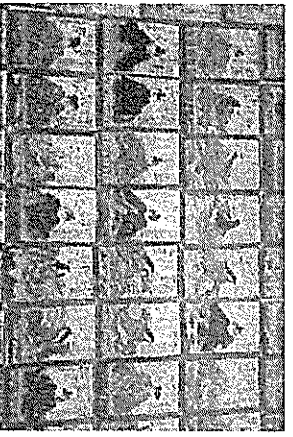


小倉百人一首の歌人たち(小野小町編)

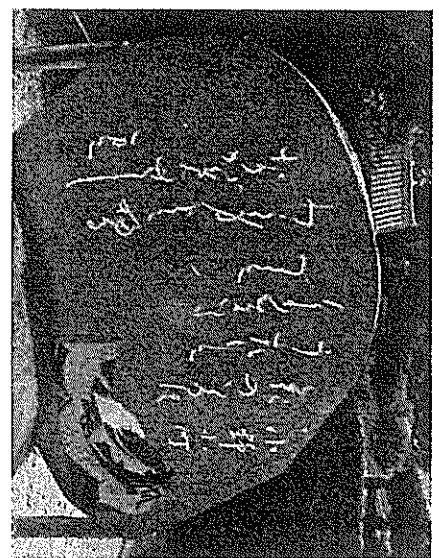
“花の色は 移りにけりな いたづらに わが身よにふる なかめせしまに”

女流歌人の筆頭、古今集での「六歌仙」や藤原公任撰の「三十六歌仙」にも撰ばれている。9世紀中頃の後宮(こうきゅう)女官、東北出羽の生まれとも。京都左京区上高野地区は小野郷とも呼ばれ、小町、篁(たかむら)、毛人(えみし)、妹子、遡っては敏達天皇にも繋がる場所としている。



錦絵 百人一首 (江戸時代のかるた) 協力: 時雨殿

この歌は古今集で、春の歌、花は桜、「いはは、よきおんなのな やめるところある に似たり」と評された歌。眉目(みめ)麗しく後世に幾多の恋物語を残すが、晩年には老醜に身を晒す。京都近郊では、退耕庵、随心院、月心寺、補陀洛寺(小町寺)にそれぞれ老衰像が祀られ、絶世の美人の面影はない。薄(すすき)のはえた小町の鬘の「あなめ」の説話など哀れをさそう。文: 河田久章(日本かるた院本院 参与)



随心院境内小野小町歌碑(協力: 随心院)

都草のホームページが出来ました!

都草のホームページをアップ致しました。都草の最新情報はこちらでご確認を。

H P: <http://homepage2.nifty.com/miyakogusa/>
ブログ: <http://www.voluntary.jp/miyakogusa/>

京都観光文化講座/“京都通”実力テスト

主催: NPO法人「京都観光文化を考える会・都草」
平成19年11月11日(日)午前9時(受付開始)午前10時開始
第一部
10:00 主催者挨拶
10:10 講演「平安京以前の京都」古代京都の国際的環境-京都産業大学教授・京都市歴史資料館館長 井上瀧郎 先生

11:40 講演「京都検定合格の秘訣」平成18年度 京都検定1級最高得点合格者(女性) 第二部

13:00 “京都通”実力テスト
上級(京都検定1級レベル)90分(60名)
13:30 “京都通”実力テスト
中級(京都検定2・3級レベル)90分(120名)

※ 中級は大谷婦人会館で実施(会場は畳の部屋になります)
※ 東本願寺の歴史の説明があります

「京都府庁旧本館と府庁周辺の史跡を歩く」

主催: 京都府庁 案内役: <NPO法人「都草」> <NPO「平安京」>
期間: 11月19日(月)・20日(火) 10時~13時
NPO「平安京」担当
11月21日(水)・22日(木) 10時~13時
NPO法人「都草」担当

※Aコース: 「京都府庁旧本館と御所周辺の史跡を歩く」
責任者: 田村理事
※Bコース: 「府庁旧本館と三条通の近代西洋建築物」
責任者: 坂本理事長

なお詳細日程は11月4日の府民だより並びに新聞紙面上に発表予定

「京都府庁旧本館」秋の一般公開のお知らせ

期間: 10月20日(土)~11月4日(日) 9時~17時
※ただし期間中の水、金、土曜日は9時~20時30分

「都草」の案内業務担当
期間: 10月31日(水)~11月4日(日) 9時~17時
※ただし期間中の水、金、土曜日は9時~18時

編集後記

NPO法人「都草」として京都府から認可を受け、正式に発足致しました。会員相互の意思疎通を図り、多くの人々に知っていただく為、「都草だより」を発行する事になりました。8月11日から会報作業部会の編集会議を開催し、編集委員の協力と支援により、発行する事ができました。最後に「都草だより」に対する会員の皆様からのご意見・ご要望・ご提案をお待ちしています。

問い合わせ先: Mail / bunaka@gaia.eonet.ne.jp

第0号



NPO法人 京都観光文化を考える会 都草だより

平成19年10月4日発行
発行人: 坂本孝志
編集人: 龜田正昭
発行所: 京都市南区吉祥院 石原長田町1-1 桂川ハイツ 3-802
TEL: 075-671-0088

坂本理事長からの挨拶

いつも都草の運営にご支援・ご協力いただきありがとうございます。多くの方々から京都検定を受検され、四季折々の美しい京都を、時には厳しい炎天下、底冷えのする京都を、テキスト片手に一生懸命歩いていらつしやいます。自分自身を含め、この京都に対する熱い想いはいつだって何処から来るのだろうかと思えます。

私は第1回の京都検定一級に合格し、生まれて初めてテレビや新聞などのマスコミに出演したり、周りの人々からの賞賛に、誇りは感じるものの何かか到達したという充実感はありませんでした。

友人達とミニ探訪会をやつたり、京都検定の勉強会を行つたりするうちに、同じ考えを持つと多くの人達と、何かをしたいと思ひ、京都検定を考える会を発足致しました。

それが都草の始まりで4月にはNPO設立総会が開かれ名称も「都草」となり、8月に正式に法人認可が下りたことはご存知の事と思います。私は歴史や文化を学ぶことは人間を理解すること

に繋がっていると思つています。京都がクローズアップされている現在、観光が観光だけで生き残ることのできないのも事実です。そこに学びの要素がプラスされることにより更なる飛躍が生まれると思ひます。

京都観光文化を考える会・都草はその学びの場を共有し、共に学びそこからなにかを発信し、さらに楽しみながら自己充実、地域社会への参加、それぞれの夢をかなえる場であります。

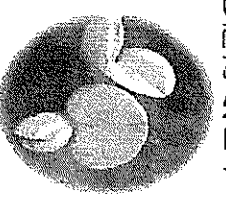
共に成長する場として、あくまでも活動の原点はボランテイアにあることを忘れずに長く活動が続くことを願つています。

最後になりましたが皆様の協力なくしては維持・存続は大変難しいと思つております。皆様の熱い心が都草のエネルギーとなりますので何卒宜しくお願い申し上げます。

坂本孝志

◆都草はどこから

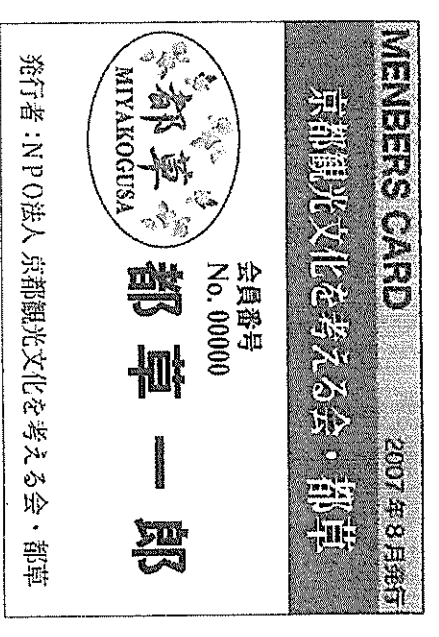
都草という当会の名称を決めるには実に多くの候補がありました(20数例)。その中から“都”という名称が入っている事や他の組織(企業など)に同じ名称を使用している例が見当たらなかつた事が決め手となりました。名称にもなっている“都草は実在する植物で、日本全国の陽当たりが良い草地に生えるマメ科に属する多年草です。小さな黄色の花が咲き、烏帽子草とも呼ばれます。花言葉は「また逢う日まで」です。



都草のロゴマークできました

オリジナルのロゴマークを会員の方々に作っていただきました。皆さんの手元にまもなく会員証が届きますのでそちらで色、デザインをゆつくりご覧下さい。この会報の題字の左端がオリジナルデザインのロゴマークです。

会員証の発行 10月4日から始まります



上記はサンプルです。一部再検討事項がありますので会員の皆様にお渡しする物と若干異なることがありますのでご了承下さい。

※会員証に誤りがある場合はお知らせ下さい。

■理事会報告

第1回 平成19年4月29日

<審議&議決事項>

1. 特定非営利活動法人「京都観光文化を考える会都草」設立総会において、理事及び監事が承認された事を受け理事会を開催
役員の役職、設立代表者の選任で理事長ほかを議決

第2回 平成19年5月9日

<審議&議決事項>

1. 「都草」ホームページ作成の基本設計を会員に依頼する事を決定
2. 歴史探訪会の説明の分担と参加費500円徴収を決定
3. ボランティア保険はその都度申し込む

第3回 平成19年6月6日

<審議&議決事項>

1. NPO申請書類の一部修正した事を承認
2. 歴史探訪、美化活動、広報の3部会の運営に会員の協力を得る為、部会員の募集決定
3. 調査票その他の件

第4回 平成19年7月5日

<審議&議決事項>

1. 歴史探訪会、美化活動、広報の3部会を設置
2. 会計報告および会計に関する理事会内規の提案とその承認
3. “賑わいまちづくりコンソーシアム” 事業参加を決定
4. 石峰寺修復寄付金として6月28日開催の研究発表会費から5000円の寄付を承認

第5回 平成19年8月5日

<審議&議決事項>

1. 京都観光文化講座/「京都通」実力テストの参加費は、一般：3000円、会員2500円とする
11月11日の実施要綱について報告
2. 今後の日程について
イ. 8月7日 NPO法人「なら・観光ボランティアの会」訪問
ロ. 8月9日 打合せ
ハ. 8月10日 石峰寺へ寄付金持参
ニ. 8月11日 合同部会

第6回 平成19年9月5日

<審議&議決事項>

1. 京都通実力テストで「京都検定」の表現の使用承認を京都商工会議所から得る
2. 9月30日 京都文化織物 推進協会の学生を対象とした催しに協賛する
3. 当会入会の会員証の作成決定
名刺は希望者には作成するが、詳細は後日とする
4. 広報部会、歴史探訪部会、美化活動部会から活動状況について説明あり



■各部会報告

●専門部会について

NPO法人「都草」の活動部会は次の通り

◆歴史探訪部会

目的 「都草」の事業の中核である歴史探訪会をより充実した内容にするため、専門部会を設け企画運営

作業内容：テーマ並びに探訪地の設定
実施計画の策定資料の作成
探訪会の記録。

◆美化活動部会

目的 「都草」の重要な活動事業の一つとして位置づけであり、神社仏閣およびその周辺の美化活動

作業内容 美化活動地域の選定、実施計画とその準備
実施当日の運営

◆広報部会

目的 「都草」の目的と活動についての広報

作業内容 HPの企画、管理
会報等の作成
講座案内などの広報活動
研究発表会の準備

作業部会：ホームページ作業部会
会報作業部会
ウェブサイト対策作業部会

●専門部会 活動報告

◆歴史探訪部会

- 8月11日 歴史探訪部会議
- 8月26日 歴史探訪部会議
- 9月 6日 歴史探訪部会議

◆美化活動部会

- 7月29日 吉祥院天満宮 菅原清公卿墳墓の清掃奉仕
- 8月11日 美化活動部会議
- 9月 立本寺日程調整中

◆広報部会

- 8月11日 広報部会議
- 8月26日 ホームページ作業部会
会報作業部会
ウェブサイト対策作業部会

◆「都草」研究発表会

6月28日「京都の神社と動物」 坂本孝志

それぞれの社寺と関係の深い動物達(雀、猫、馬鹿、狐等)の由来や言い伝え、ご利益が説明された。又資料最後の練習問題が好評でした。



木村哲夫

9月22日「京の街角地蔵を求めて」
地蔵信仰について、古文書(絵図)に見る街角の地蔵等など興味深い研究発表でした。当日は38名参加者があり、京都新聞社の取材もありました。



歴史探訪会

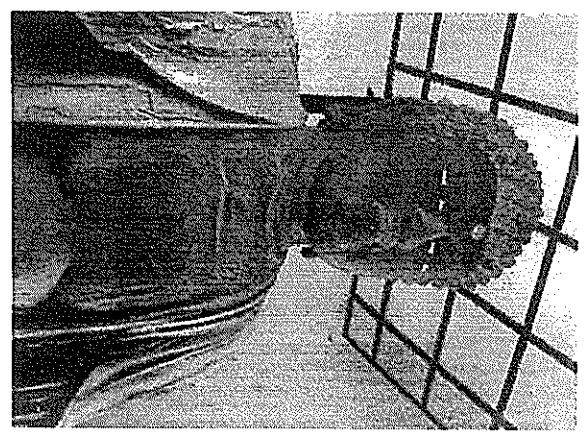
第1回 墨染桜と伏見桃山城跡を歩く

平成19年4月9日 京阪 墨染駅集合 参加者19名

ルート：京阪墨染駅→墨染桜寺→欣浄寺→撞木町の遊郭跡→海宝寺→龍雲寺→御香宮神社

■解説

墨染桜寺の由縁となった墨染桜は、歌人上野峯雄が藤原基経の死を悼み、「...今年ばかりは墨染めに咲け」と詠み、薄墨色に咲いたとされています。代は変わっても満開の桜は我々を微笑んで迎えてくれました。欣浄寺では、伏見大仏の木造仏が圧倒的な迫力で迫ってきました。こちらは深草の少将の屋敷跡とされ、ここから山科の小野小町のもとに通ったとされています。撞木(しゅもく)町の遊郭跡では大石良雄を偲び、そして海宝寺では伊達政宗、伊藤若冲に思いを馳せて、百貨店の丸との繋がりについて伺いました。次に訪れた龍雲寺には鳥居元忠ほかの墓があり、この地は幕末・鳥羽伏見の戦いの戦場跡地でありました。



第2回 後白河上皇と豊臣秀吉の夢の跡を歩く

平成19年5月28日 京阪 七条駅集合 参加者54名

ルート：京阪七条駅→法住寺→後白河上皇法住寺陵→養源院→三十三間堂→豊国神社→方広寺→智積院→妙法院→新日吉神宮

■解説

後白河上皇は、法住寺殿を中心に院政をしき、西には平清盛に蓮華王院(三十三間堂)を造らせました。この広大な敷地に重なるように、豊臣秀吉は方広寺を建立し、死後に豊国神社が造られました。この建立した方広寺の鐘の銘が豊臣家の運命を変えました。今回は豊国神社で「豊国祭礼図屏風」を拝観し、方広寺大仏殿の跡地に立ち新日吉神宮に参拝をして、二人の夢と現実を垣間見た史跡見学となりました。



第3回 平安宮(大内裏)を歩く

平成19年7月22日 京都アスニー集合 参加者50名

ルート：平安京創生館→造酒司跡→豊楽殿跡→朝堂院跡→大極殿跡→大極殿石碑→小安殿・昭慶門→内裏内郭回廊→本御書所跡→松林寺→出水の七不思議→光清寺→五劫院→観音寺→極楽寺→地福寺

■解説

平安京は、都が朱雀大路を中心に左京と右京に分けられ、条坊制による都市計画が行われました。その後、右京が廃れ、左京に人々が移り住み、北は一条通り、東は鴨川を越えて発展しました。内裏では火災にあい、天皇は里内裏を転々としたのち、現在の京都御所に定着しました。末法思想が蔓延し、当時の天皇達が白川の地に寺院(六勝寺)を作った事などを模型での解説がありました。創生館での説明後上記のルートを訪ね歩きました。そして、光清寺では、重森三玲作のお庭を三玲さんのお孫さんの重森千青氏から解説していただきました。

